

国語

次の文章を読んで、①～⑥に答えなさい。

(45分)

著作権の関係から設問のみ

(出典 内田 樹「最終講義」)

- ① —の部分②、③、④を漢字に直して楷書で書きなさい。
- ② 「存在する……触れてくる」とはどういうことか。それをわかりやすく述べた部分を文章中から一文で抜き出して、最初の五字を書きなさい。(句読点は一字に数える。以下同じ。)
- ③ 「それが……仕事です」とあるが、筆者が「科学者」の話を取り上げた意図として最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- (1) 真の科学者が知の最先端で行っている研究の実態を示すため。
 「礼」は死者を祀ることに限らない一般的な行為だと示すため。
 人間誰しもやるのが科学者の行為に象徴されると示すため。
 「礼」の伝統的な意味を身近な例をとって明らかに示すため。
- ④ 「僕たちは……わけです」とあるが、それはなぜか。理由に当たる部分を文章中から一文で抜き出して、最初の五字を書きなさい。
- ⑤ 「カ」に入る適当なことばを、それぞれ二字で書きなさい。
- ⑥ 「人間的な学の始点」とあるが、筆者は「学ぶ」とはどういうことだと述べているか。文章全体を読んでわかりやすく説明しなさい。

2

次の文章を読んで、①～⑥に答えなさい。

著作権の関係から設問のみ

(出典 齋藤 孝「古典力」)

- ① 「自分が……あげる」とあるが、その「自分が先陣だ」に当たる部分を原文から抜き出して、最初と最後の三字を書きなさい。
- ② 「なほり」の読みを、現代かなづかいで書きなさい。
- ③ 「助けてもらって」を、謙譲語を用いて言い表わしなさい。
- ④ ⑤に入る最も適当なことを、これより前の文章中から抜き出して書きなさい。
- ⑤ 「中身……もつたいたい」とあるが、この「中身」がたとえているのはどのようなことか。その説明として最も適当なのは、(1)〜(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- (1) 冒頭に代表され、作品全体を貫く精神である独特の無常感。
- (2) 作品中に生きる人間の身体性と、それを描き出す豊かな表現。
- (3) 若々しい登場人物たちの強靱な精神と生命感にあふれた身体。
- (4) 登場人物たちの活躍を生き生きと描く現実味あふれる映像美。
- ⑥ 「祇園精舎の鐘のこえ、諸行無常のひびきあり」における表現上の特徴を、次の朝日高校歌の冒頭の特徴と比べながら説明しなさい。
 「国土こくちのなからを占めて まがねふく吉備の野平のたいら」

3

次の文章を読んで、①〜⑦に答えなさい。

著作権の関係から設問のみ

(出典 内海隆一郎「外れくじ」)

- ① —の部分②、③、④の漢字の読みを書きなさい。
- ② ⑦に入ることはとして最も適当なのは、(1)〜(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- (1) すげなく (2) 気後れして (3) 悪びれずに (4) ぬけぬけと
- ③ 「母さんは……思うわ」と「吉川さん」が言った理由として最も適当なのは、(1)〜(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- (1) 自らの挫折を契機にしてではあるが、心ならずも帰省してくれた息子の気持ちを察して、労いたってやりたいと思ったから。
- (2) テレビ局の仕事を快く思っていないが、母親に対する息子のさりげない気遣いを感じられ、この上もなくうれしかったから。
- (3) 華やかながらも変化の激しいテレビ局の仕事が、古風な息子には合っていないのではないかと以前から心配していたから。
- (4) 息子の率直な告白に感心するとともに、テレビ局を辞めた理由にもその値うちを認めて、賛意を示したいと思ったから。
- ④ 「照さんは……しまっている」とあるが、それはなぜか。わかりやすく説明しなさい。
- ⑤ 「恵一は……取り出した」とあるが、この時の「恵一」について説明したものとして最も適当なのは、(1)〜(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- (1) 父の言葉に発奮し、三年間修業してきた自分の腕前を見てもらうことで、家業を継ぐ覚悟のほどを示そうとしている。
- (2) 父に拒絶されて不安定な自分の気持ちをどうすることもできず、せめて母に身に付けた技術を見せようとおうと気負っている。
- (3) 家業の重みとそれを支えてきた母の偉大さにはじめて気付き、せめて感謝の意を自分の行動に表わそうとしている。
- (4) 修業で身につけた巧みな技術を見せつけることで、自分が一流の鰻職人として通用することを証明しようとしている。
- ⑥ 「目を……応えた」とあるが、この時の「吉川さん」の気持ちをわかりやすく説明しなさい。
- ⑦ この文章の表現と内容についての説明として適当でないのは、(1)〜(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。
- (1) 照さんは全てを知る人として場面展開の要かなめとなっている。
- (2) 調理される鰻の描写は恵一の技術の確かさを物語っている。
- (3) 間接的に登場する父親は場面を味わい深いものになっている。
- (4) 恵一の成長の過程が一貫して吉川さんの視点で描かれている。